

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	海岸公園の一部（馬術場を含む。）
2	指定管理者	株式会社乗馬クラブクレイン
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 20,289人（前年度比 183.1%） 平成30年度 11,083人
		《事業》 馬術場の利用調整及び市民スポーツとしての乗馬普及振興を目的とした各種事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 14,738千円 （ 14,354千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） 《収入》 ・ 使用料収入 1,670千円 （ 229千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円） ()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 2019年4月～2020年3月まで集計。1017件取得。アンケートから利用者の要望を吸い上げ運営に反映していく。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	海岸公園の井土地区に位置する施設として、設置目的を十分に理解し、管理運営に十分反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	施設の運営において人員配置を工夫しており、様々な自主事業を実施しながら、事故防止や災害発生時の体制構築を十分に行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設や外構等について、適切な維持管理が行われている。馬糞の処理等についての環境対策にも積極的に取り組んでおり、厩舎等の衛生状況の保持に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	施設で誕生した仔馬の名前を公募するなどのPRを行い、市民に親しまれる施設となるように努めている。また、接遇研修等の実施や、利用者アンケートに対する対応も十分に行っており、施設のサービスの向上についての取り組みが行われている。	28/28
V 施設固有の基準	他地区の指定管理者と連携しながら、施設の特性を生かした海岸公園全体の魅力を伝えるイベントを実施し、賑わいや交流等の創出に努めている。	5/4

三 評価総括

《指定管理者（株式会社乗馬クラブクレイン）による自己評価》

指定管理業務における利用申込(競技会利用等)は2件(延べ257名、延べ91頭)であった。今年度は東北総体の開催が無かった事より、県民大会において比較をすると、昨年度と比べて参加人数は55名増。参加頭数は47頭増と利用者は増えてきている。自主事業においては、公園管理者であるセンターハウス、冒険広場と共同で企画した「馬に乗って荒浜の今を知ろう」で植樹状況、貞山堀、荒浜の魅力や復興の状況を知って頂く機会の提供や、夏休みに実施した「仔馬ふれあい体験」で若林区の小学生が参加(延べ36名)。又令和元年3月にポニーの赤ちゃんが生まれ名前を一般公募し(応募数472通)最多数の「きなこ」に決定。様々な企画取り組みを行い、メディアに取り上げられた回数は15件と認知度向上、市民利用の促進に一定の成果を挙げられたと感じる。今後も当馬術場の設置目的である「市民スポーツとしての乗馬振興」を実施するべく適正な運営と自主事業の充実、隣接施設と協力し荒浜井土地区の魅力を発信し、市民の満足度向上の為の取り組みを積極的に行う。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

施設の再開後、環境が大きく変化する中、施設を十分に維持管理している。植栽や外構については、梅雨や台風等により管理が難しい時期もあるが、こまめに手入れを行うなど、季節や天候に合わせて十分な管理を行っている。また、大会開催数も徐々に増えてきており、利用団体と良好な関係を維持しており、市民乗馬・えさやり体験等の自主事業や、「仔馬ふれあい体験」等のイベントを通じて、施設の利用促進に繋げる姿勢は評価できる。さらに、海岸公園他地区の指定管理者との共同イベント「馬に乗って荒浜を知る」を実施し、東部沿岸地域の賑わい創出に繋がる取り組みを行い、施設の役割を十分に果たしている。

S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課